

「無戸籍者」について考える 映画&講演会

親の育った環境など複雑な事情により「無戸籍」となっている人は、日本でも約1万人いると言われています。戸籍が無いことで学校に通えない、病院に行けない、就職できない、結婚や出産も困難を極めるなど、無戸籍者の深刻な現状と彼らへの支援活動について、映画と講演を通して学びます。



(C) RIGHTS CUBE

映画「空のない世界から」

「助けてー」いつも心で、叫んでた。
現代社会に掻き消された「悲鳴」。
我々が知るべき問題が、ここにある。

ある母親と娘が配偶者のDVから逃げ出して7年が経過した。娘が小学校に通う年齢を迎えるが、戸籍を取得していないため入学できない。悩む彼女の背中を押してくれたのは、世の中から「必要ない」とされている人々であったー。

主演：兒玉 遙、監督：小澤 和義

[2022年製作、67分]

日時 2024年3月2日（土）午後2時から

※映画上映の後、講演「無戸籍者支援について」（約60分）を行います。

会場 伊丹市立人権啓発センター『ふらっと』2階 大集会室

（伊丹市堀池2丁目2番20号）

定員 100人（先着順）

申込み 2月1日（木）から

電話にて受付開始

問合せ 人権啓発センター

TEL 072-781-6006

（平日 9:00~17:30）



公共交通機関（バス等）をご利用ください